

テクニカルショウヨコハマ2022(ハイブリッド型)公式ホームページ制作審査基準

1 審査の考え方

提案書の審査にあたっては、『テクニカルショウヨコハマ2022(ハイブリッド型)公式ホームページ制作業務委託仕様書』および『テクニカルショウヨコハマ2022(ハイブリッド型)公式ホームページ制作 一般公募型プロポーザル実施要領』を基に、本業務に対する企画提案等について、提案書及びヒアリング等に聴き取りにおいて審査する。

2 評価基準

上記の考え方にに基づき、委託先業者選定の審査会を実施する。当審査会における評価基準は、以下の9項目に基づき採点し、最も高得点を獲得した企業に決定する。

	項番	評価項目	評価視点	配点
提案内容	1	実施体制	信頼できる企業規模で、要求定義から保守までの委託業務の実施にあたり、人数や経験を考慮した適切な実施体制であるか。	10
	2	作成実績	同種、または、同規模のwebサイトの作成実績はあるか。	10
	3	業務への理解度	業務の特性や課題を正確に理解したうえで、仕様書の機能要件を十分に満たす提案であるか。	10
	4	有益な機能	仕様書の機能要件およびそれ以外にも、有益な機能の提案があるか。	20
	5	デザイン・操作性	利用者の見やすさ、使いやすさが考慮されたデザインで、業務内容にあった提案であるか。	20
	6	工数	必要な作業項目を漏れなく把握したうえで、8月上旬の公開を予定とした無理のない工程であるか。	10
	7	セキュリティ	ハード、ソフトのセキュリティ対策について具体的かつ的確な提案であるか。	10
見積内容	8	新サイト制作費用の妥当性	新サイト制作に係る費用の算出根拠が明確で妥当なものであるか(著しく低い、あるいは高い金額でないか)。	10
	9	保守費用の妥当性	新サイトの保守において、保守内容に係る費用とwebサーバーホスティング費用等が妥当なものであるか。	
合計				100

3 評価点数

評価の際には、各項目の評価視点を参考とし、審査項目ごとに5段階で評価を行なう。評価の際には「普通」を基準として、それよりもどの程度優れているか、劣っているかを判断するものとする。また、評価には各々対応する基準となる点数を設け、当該項目の得点とする。

配点10点の審査項目	評価	評点
特に優れている		10
優れている		7.5
普通		5
劣っている		2.5
特に劣っている		0

配点20点の審査項目	評価	評点
特に優れている		20
優れている		15
普通		10
劣っている		5
特に劣っている		0

4 契約の相手方の選考方法

- (1) 評価点を比べ、最も高い評価点を獲得した提案者を契約の相手方として選考する。
- (2) 最も高い評価点を獲得した提案者が複数ある場合は「有益な機能」および「デザイン・操作性」の評価項目の合計点が高い提案者を契約の相手方として選考する。
- (3) 「有益な機能」および「デザイン・操作性」の評価項目の合計点が同じ場合は、見積書の価格の低い者を契約の相手方として選考する。
- (4) 審査会での合計評価点が6割に満たない提案者については、契約の相手方として選考しない。

5 その他注意事項

- (1) 審査員への接触があった場合には事務局に連絡するものとする。
- (2) 提案書審査及びプレゼンテーションにおいては、提案者の提案作成技術または説明技術等によらず、提案内容の優劣について審査するものとする。